

第3章

地域福祉に関する住民意識と ニーズ

第3章 地域福祉に関する住民意識とニーズ

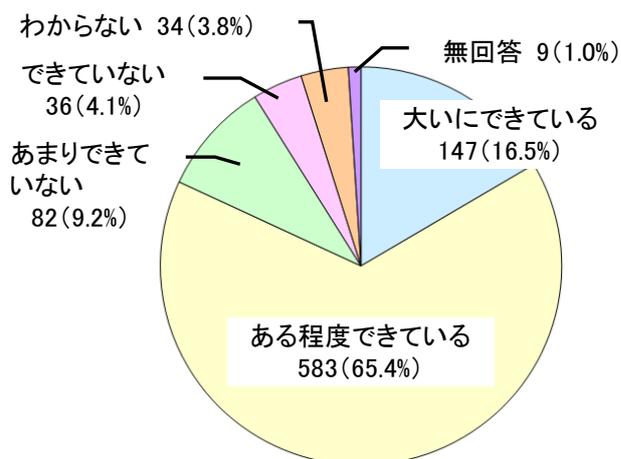
住民の福祉に関する意識や地域活動への参加状況などの実態を把握するとともに、意見・要望を広くお伺いし、地域福祉活動計画策定の基礎資料とするため、西予市との協働により「西予市地域福祉アンケート調査」を実施しました。

また、住民の皆様にお集まりをいただき、「地域の現状や課題（良いところや困りごと等）」を話し合って情報を共有し、地域福祉の将来像を考え合っただく場として、旧町ごと（市内5ヶ所）で令和元年6月から10月にかけて各箇所2回（全12回）にわたり「地域福祉の将来像を考える住民座談会」を開催しました。

その結果からみえる住民意識とニーズを整理します。

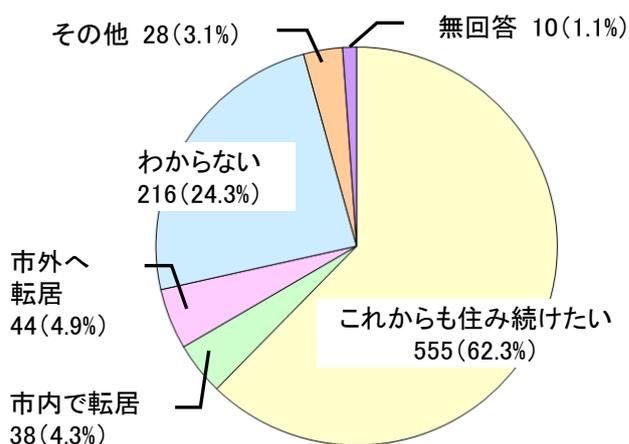
1 現在の暮らしについて

① あなたは、現在住んでいるところで自分らしい生活を自分の意志で送ることができますか



・「大いにできている」「ある程度できている」の合計が81.9%となり、多くの方が「自分らしい生活を自分の意志で送ることができる」と回答されています。

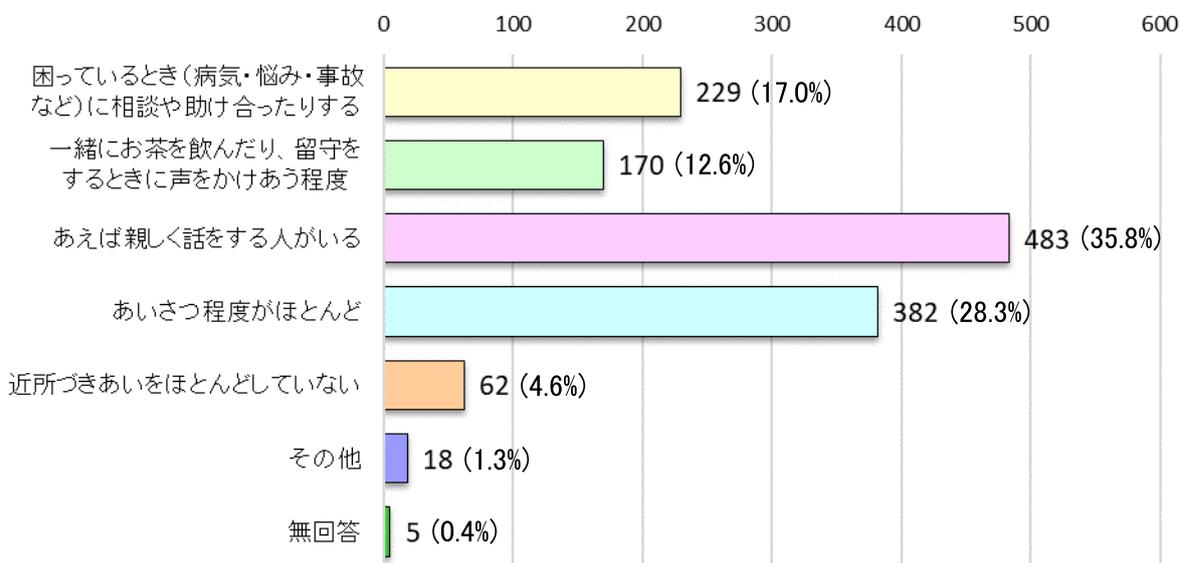
② あなたは、これからも現在のところに住み続けたいですか



・「これからも住み続けたい」が62.3%で最も高くなっています。

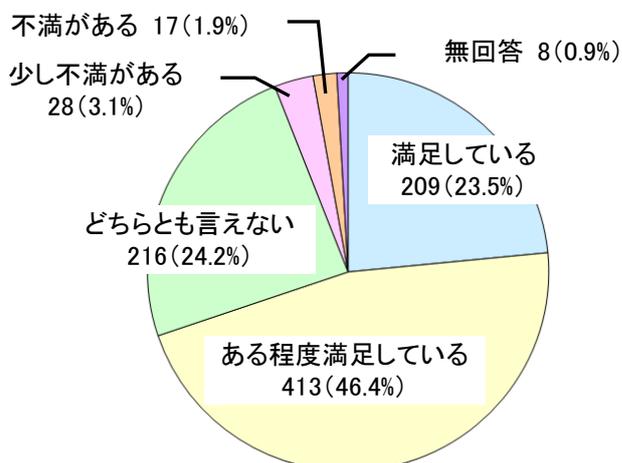
2 地域のつながりについて

③ ふだん、あなたとご近所の人との関係は次のどれに近いですか（すべてに）



- 地域との繋がりが強いと思われる「困っているときに相談や助け合ったりする」「一緒にお茶を飲んだり、留守をするときに声をかけあう程度」「あえば親しく話をする人がいる」の合計が65.4%となっています。
- 平成26年の調査では、「困っているときに相談や助け合ったりする」(17.0%)、「一緒にお茶を飲んだり、留守をするときに声をかけあう程度」(7.3%)、「あえば親しく話をする人がいる」(38.1%)となっており、ほぼ横ばいの結果でした。
- 住民座談会の際、多くの地域で「以前に比べて、地域の繋がりが希薄化している」「無関心の人が多い」といった意見が多くありました。

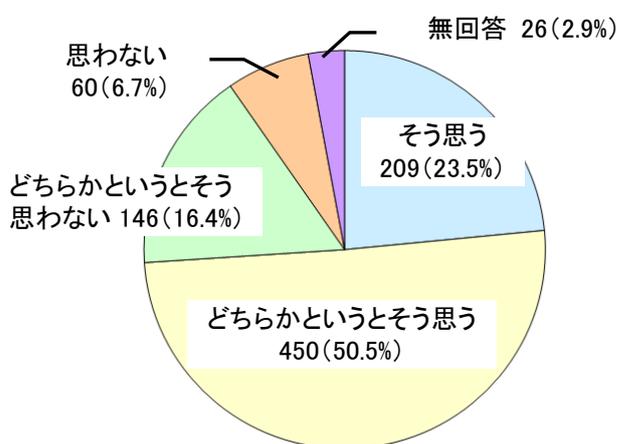
④ 現在の近所づきあいに満足していますか



- 「満足している」「ある程度満足している」の合計が69.9%となり、多くの方は現在の近所づきあいに満足されています。

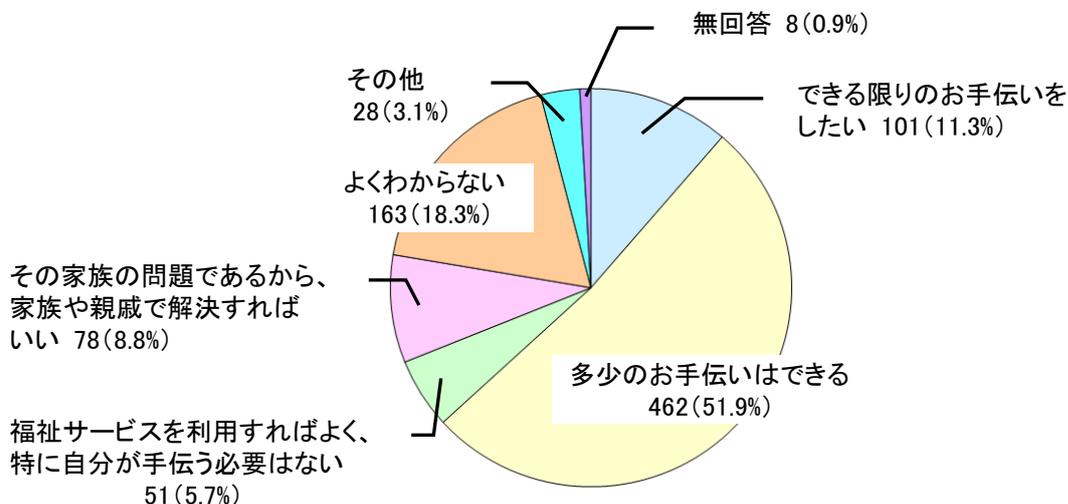
3 地域の助け合い活動について

⑤ あなたは、地域社会に支えられていると思いますか



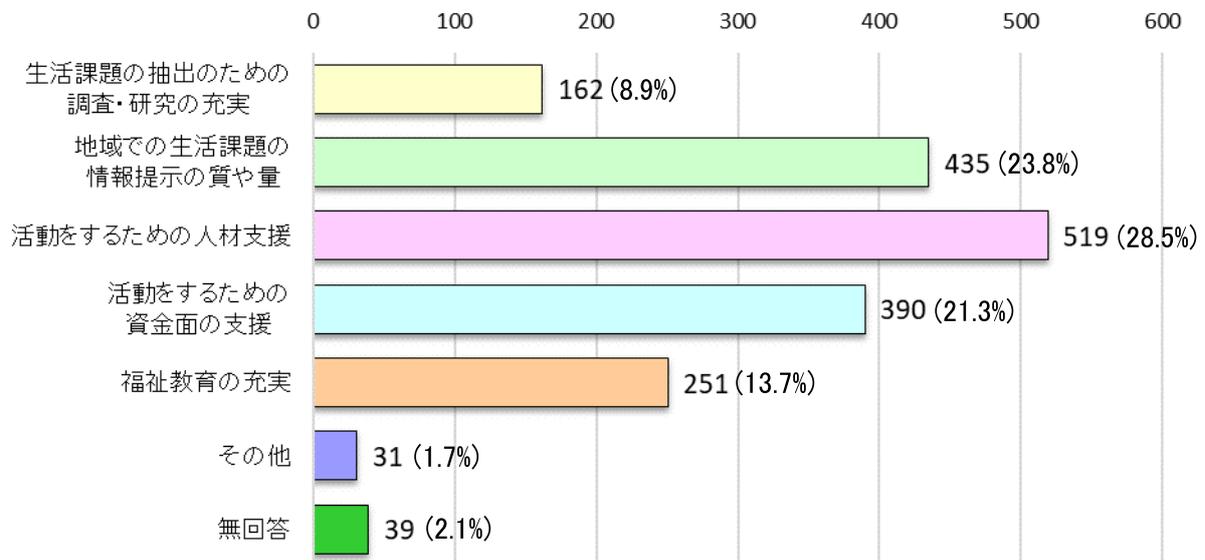
・「そう思う」「どちらかというと思う」の合計が 74.0%と、多くの方が地域社会に支えられていると感じています。

⑥ あなたのご近所で、高齢者や、障がい者、子育てなどで困っている世帯があったら、どのような対応をしますか



- ・「できる限りのお手伝いをしたい」「多少のお手伝いはできる」の合計が 63.2%となっており、多くの方が地域の助け合い活動に参加したいと回答されています。
- ・平成 26 年の調査では「できる限りのお手伝いをしたい」「多少のお手伝いはできる」の合計が 69.5%となっていました。
- ・住民座談会において、高齢者のゴミ出し手伝い、買い物代行、サロンの送迎、車の乗り合わせなど、現在もご近所同士で助け合い活動を行っているとの意見が多数ありました。

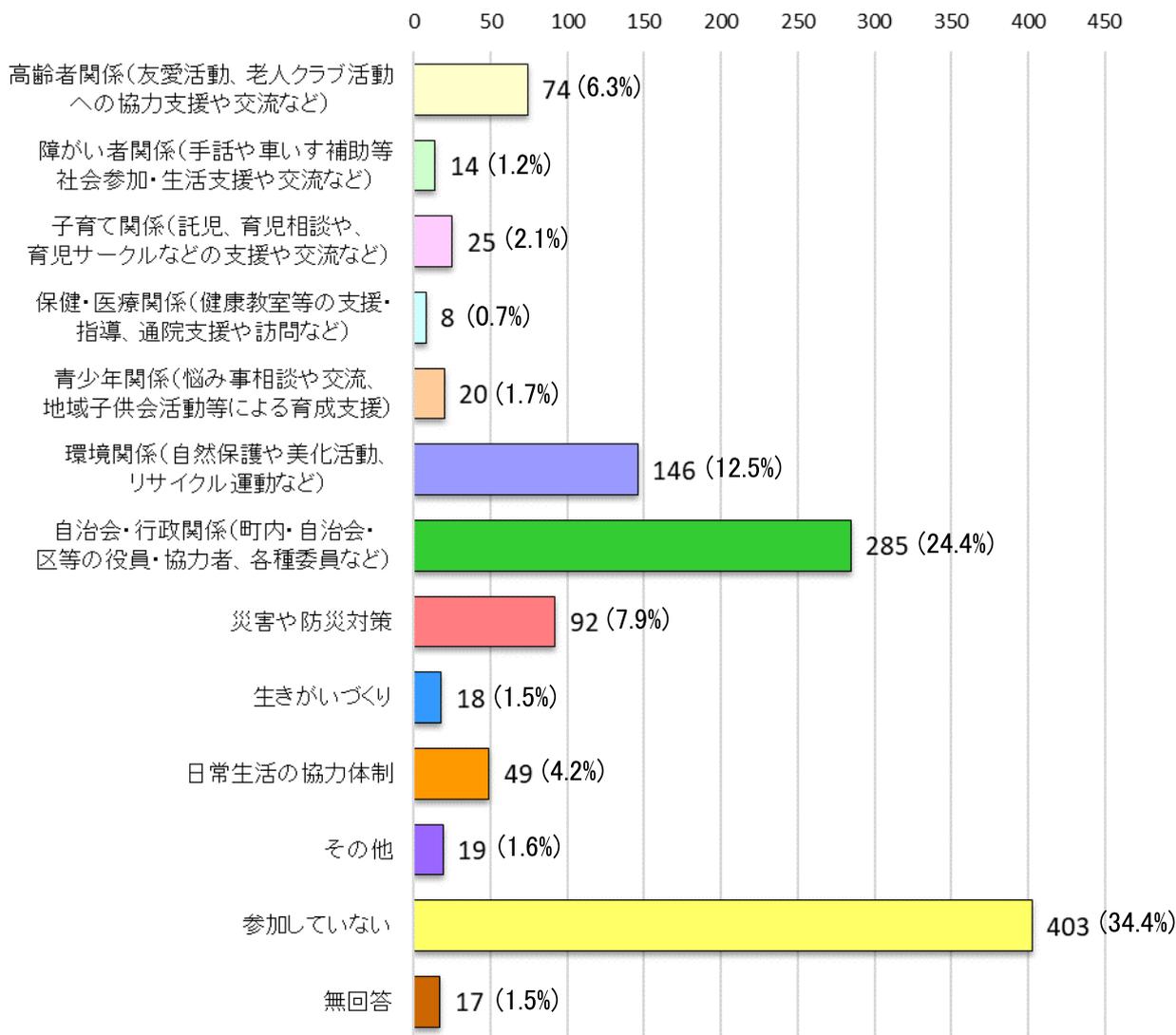
⑦ 地域の支え合い活動など、地域で市民主体の活動を活発にするため、今後どのようなことが重要だと考えますか（3つまで）



- 「活動をするための人材支援」が28.5%と最も高くなっています。
- 住民座談会でも、「地域の活動を行うための人材が不足している」と、多くの意見がありました。
- 「地域での生活課題の情報提示の質や量」が23.8%で2位となっており、情報提供の充実が求められています。

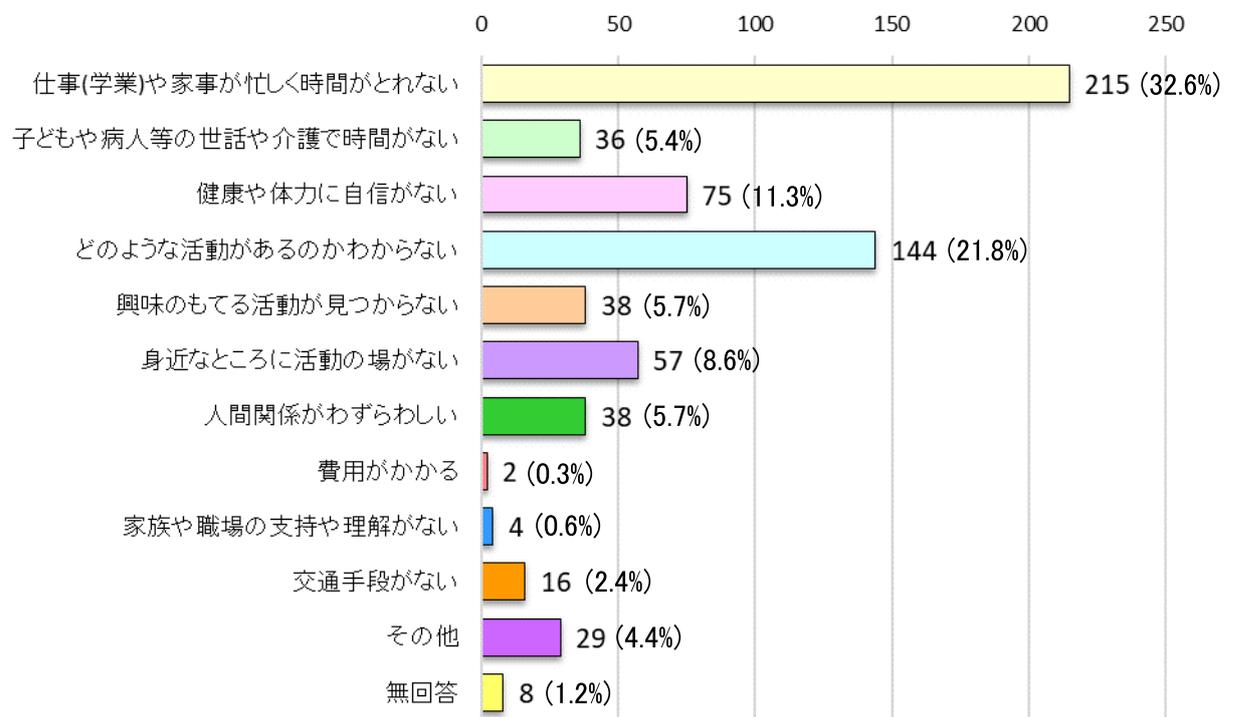
4 ボランティア活動を広げるには

③ あなたが現在、地域でボランティア活動に参加しているのは、どのような分野ですか
(すべてに)



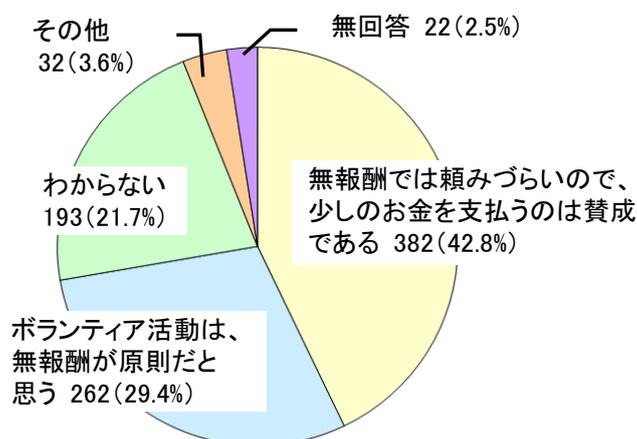
- ・参加しているボランティア活動について、「自治会・行政関係」が 24.4%と最も高く、以下、「環境関係」(12.5%)、「災害や防災対策」(7.9%)となっています。
- ・「参加していない」が 34.4%と非常に高くなっています。

⑨ 「参加していない」と答えた方でボランティア活動に参加したことがない理由は
(3つまで)



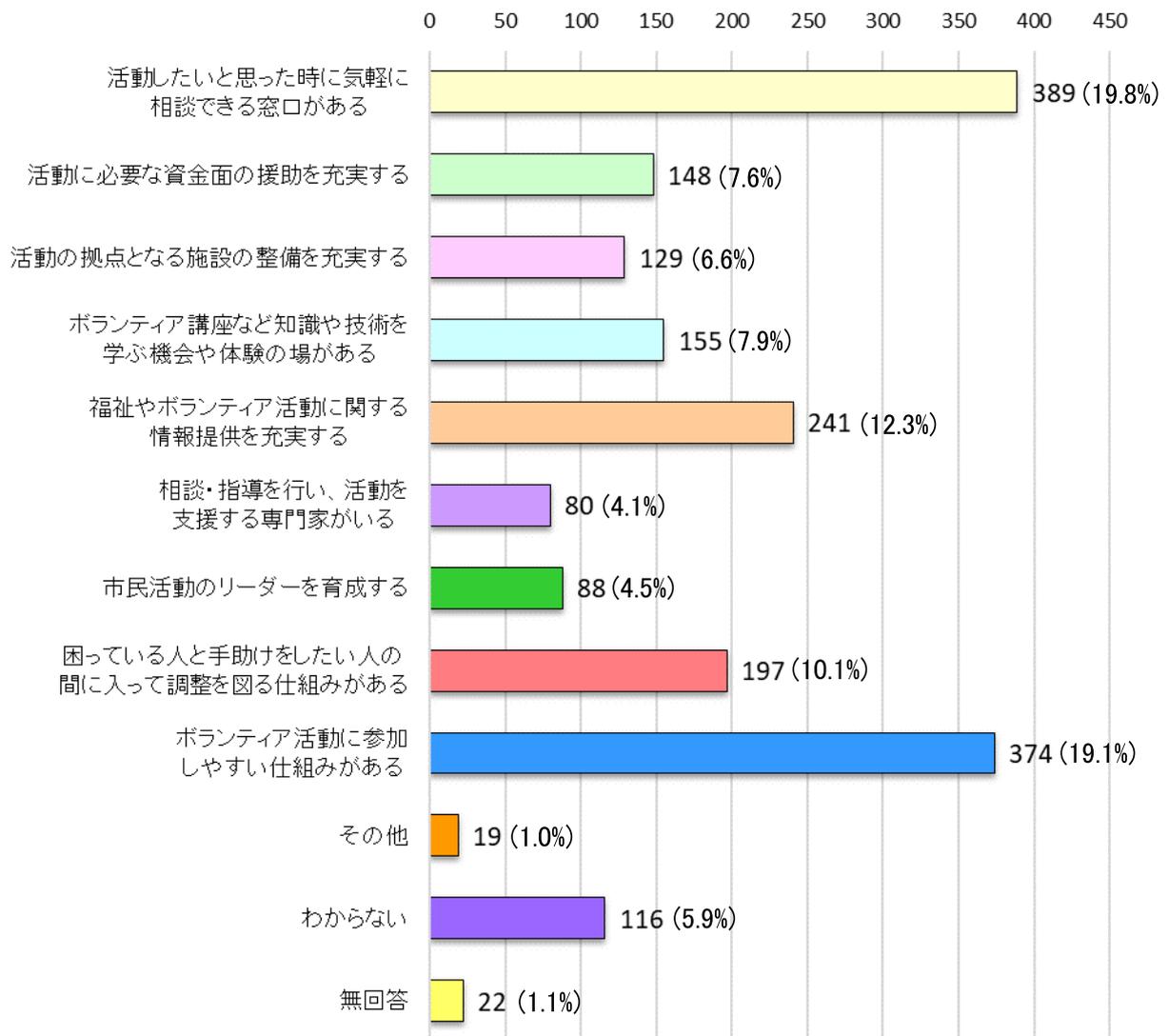
- ボランティア活動に参加したことがない理由として、「仕事(学業)や家事が忙しく時間がとれない」が32.6%で最も高くなっています。
- 前回の調査でも「仕事(学業)や家事が忙しく時間がとれない」が25.1%で、最も高くなっていました。
- 「どのような活動があるのかわからない」が前回に続いて2位(21.8%)となっており、更なる啓発が必要であると思われます。

⑩ ボランティアのあり方として、有償、無償の議論がありますが、あなたは「有償ボランティア」について、どのようにお考えですか



- ボランティアの有償・無償について、「ボランティア活動は、無報酬が原則だと思う」が29.4%に対し、「無報酬では頼みづらいので、少しのお金を支払うのは賛成である」が42.8%となっており、有償ボランティアに賛成の方が非常に多くなっています。

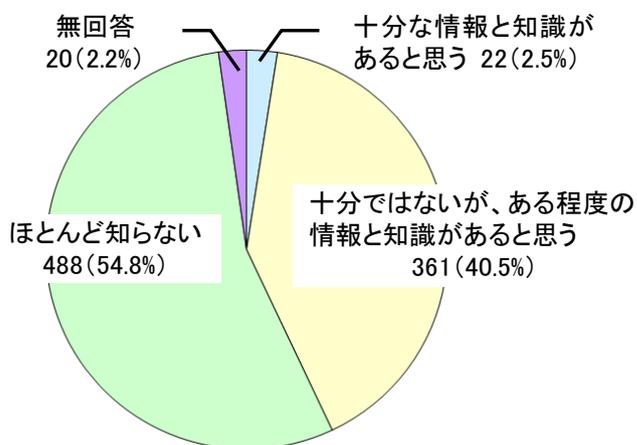
⑪ ボランティア活動の輪を広げるために、今後どのようなことが特に重要だと考えますか（3つまで）



- 「活動したいと思った時に気軽に相談できる窓口がある」が19.8%で最も高くなっています。（前回は18.9%で2位）
- 「ボランティア活動に参加しやすい仕組みがある」が19.1%で2位となっています。（前回は21.7%で1位）
- 「福祉やボランティア活動に関する情報提供を充実する」が12.3%で3位となっており（前回は11.5%で3位）、情報を伝えるための取り組みについて、更なる充実が求められています。

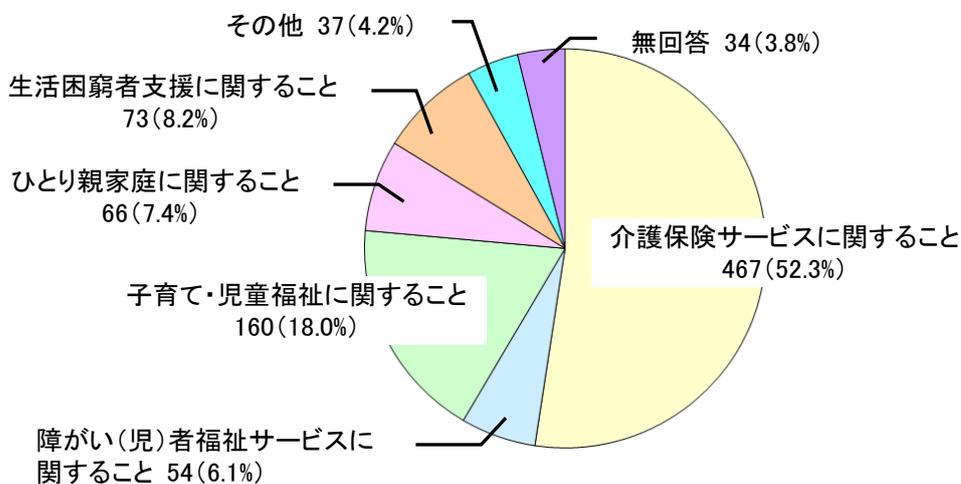
5 西予市の福祉サービスについて

⑫ あなたは、西予市の福祉サービスについて、どの程度ご存じですか



・西予市の福祉サービスについて、54.8%と半数以上の方が「ほとんど知らない」と回答されており、更なる情報提供の充実が必要であると思われます。

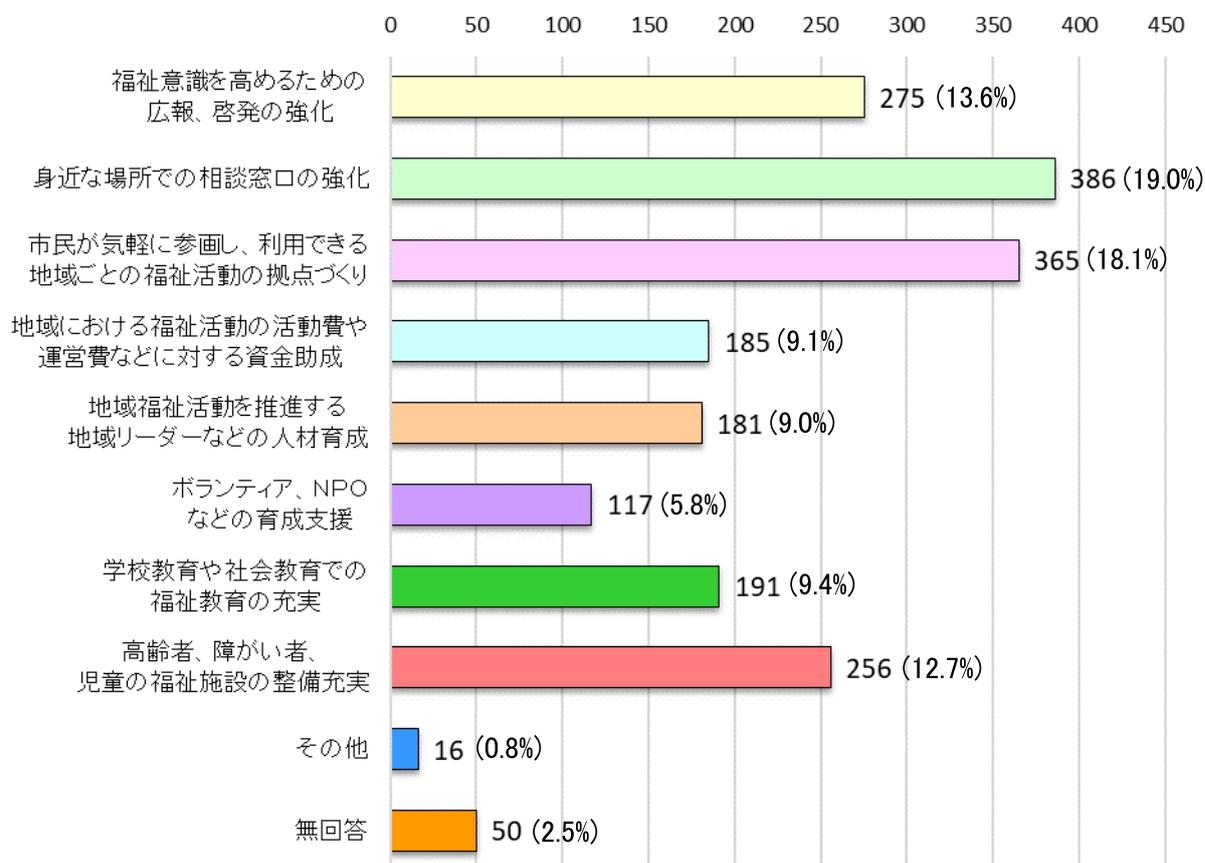
⑬ あなたは、西予市内の福祉サービスの中で、今後力を入れるべきと考えるものはなんですか



・「介護保険サービスに関すること」が52.3%と最も高く、以下「子育て・児童福祉に関すること」(18.0%)、「生活困窮者支援に関すること」(8.2%)となっています。

6 福祉のまちづくりの推進について

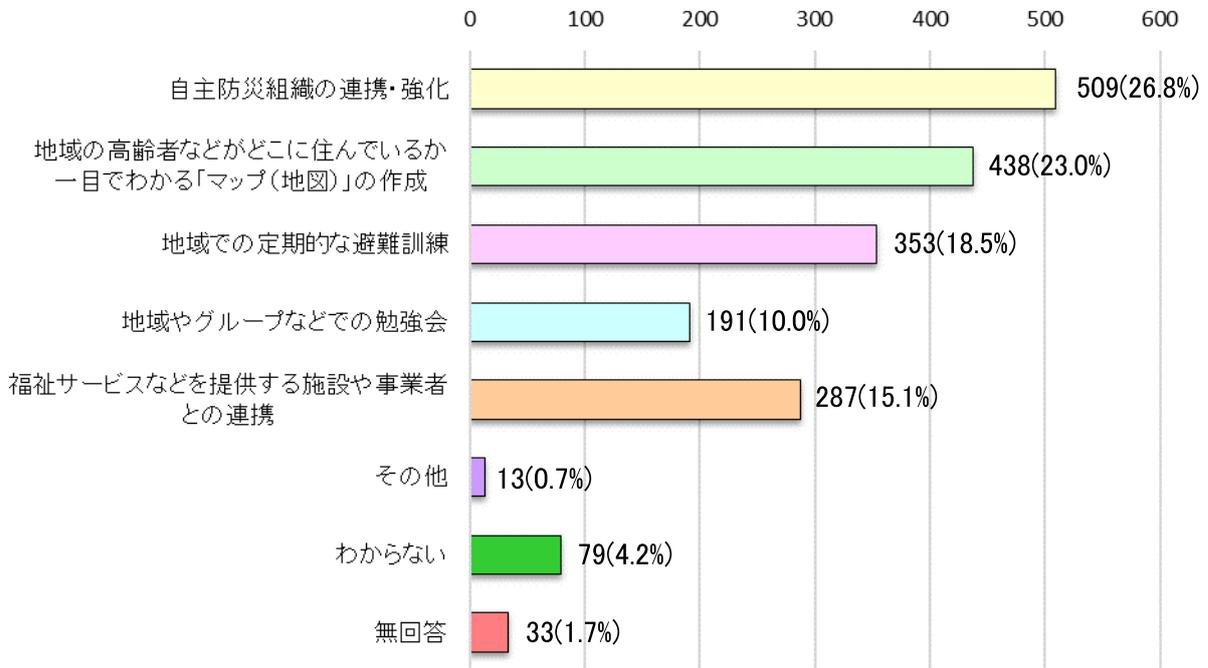
⑭ あなたは、地域福祉を推進するため、今後何が必要だと思いますか（3つまで）



- 福祉のまちづくりに必要なものについて、「身近な場所での相談窓口の強化」が19.0%で最も高くなっています。以下「市民が気軽に参画し、利用できる地域ごとの福祉活動の拠点づくり」(18.1%)、「福祉意識を高めるための広報、啓発の強化」(13.6%)、「高齢者、障がい者、児童の福祉施設の整備充実」(12.7%)となっています。
- 前回の調査では、「市民が気軽に参画し、利用できる地域ごとの福祉活動の拠点づくり」が17.9%と最も高く、以下「身近な場所での相談窓口の強化」(17.4%)、「高齢者、障がい者、児童の福祉施設の整備充実」(13.8%)、「福祉意識を高めるための広報、啓発の強化」(13.5%)となっていました。
- 住民座談会において、空き家を活用した「集いの場」など、拠点づくりについての意見がありました。

7 災害時に住民がささえあう地域づくりについて

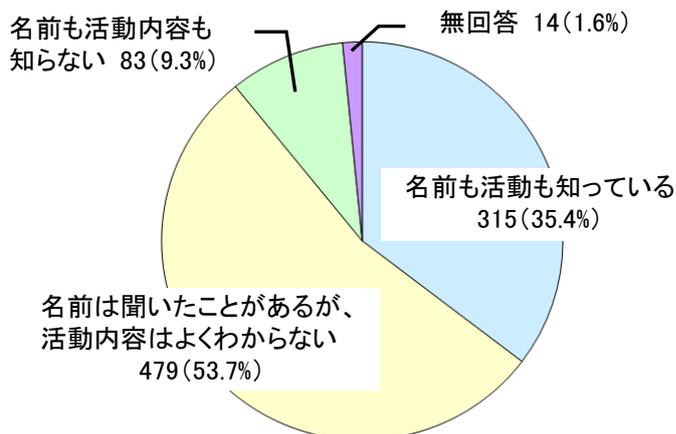
⑮ 「災害時に住民が支え合う地域づくり」には何が必要だと思いますか



- ・「自主防災組織の連携・強化」が26.8%と最も多く、以下「地域の高齢者などがどこに住んでいるか一目でわかるマップの作成」(23.0%)、「地域での定期的な避難訓練」(18.5%)と続いています。
- ・全国で多発する大規模な災害や平成30年7月豪雨災害により、住民の危機意識は高まっており、災害時に備えてささえあい活動を推進していく必要があります。

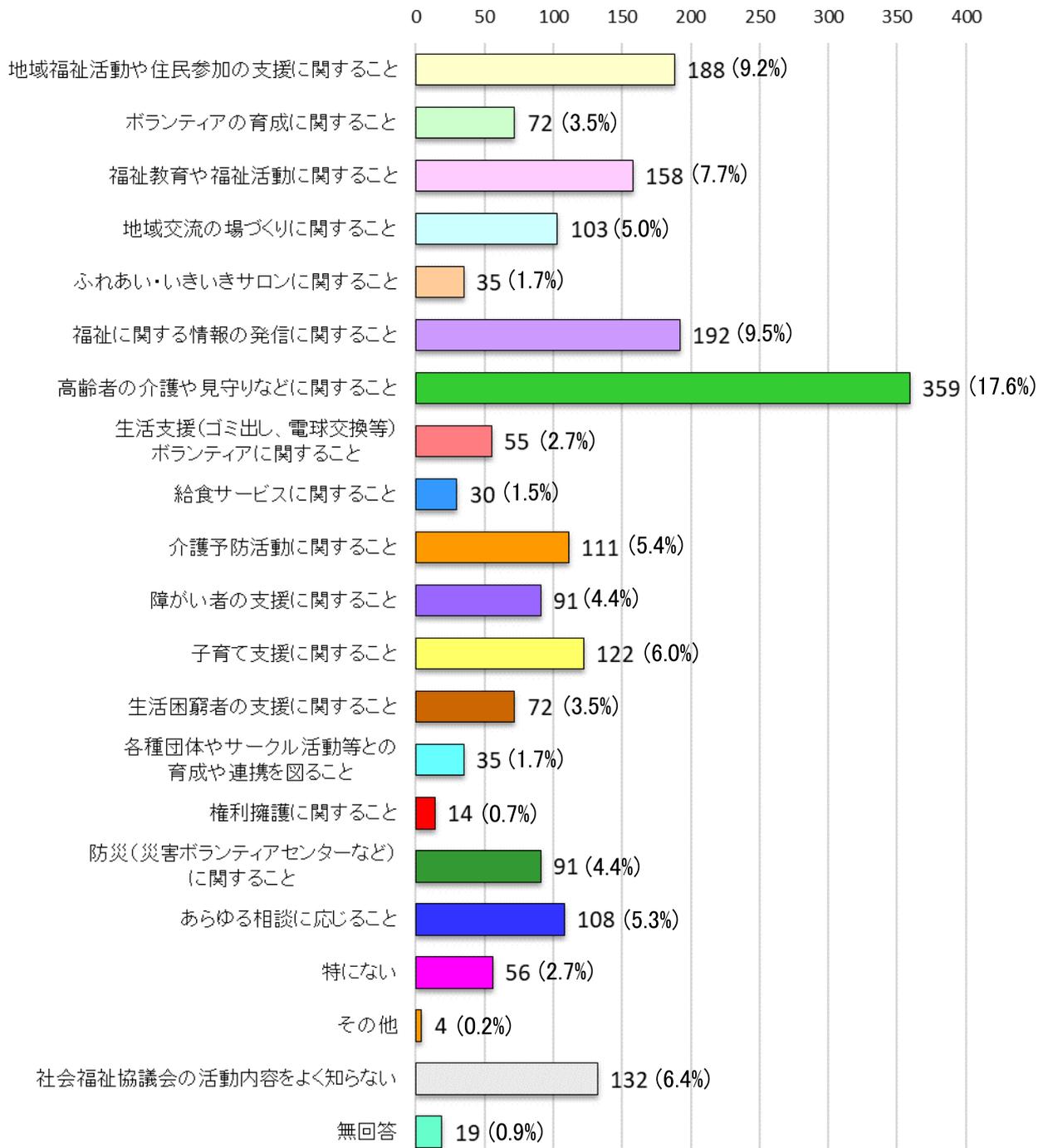
8 社会福祉協議会の認知度と求められる役割について

⑯ あなたは、西予市社会福祉協議会を知っていますか



- ・「名前も活動も知っている」「名前は聞いたことがある」の合計が89.1%と、多くの方に社会福祉協議会の名前については認知をいただいています。
- ・「活動内容はよくわからない」「名前も活動内容も知らない」の合計が63.0%と、活動内容については、十分に理解を得られているとは言い難い状況となっています。

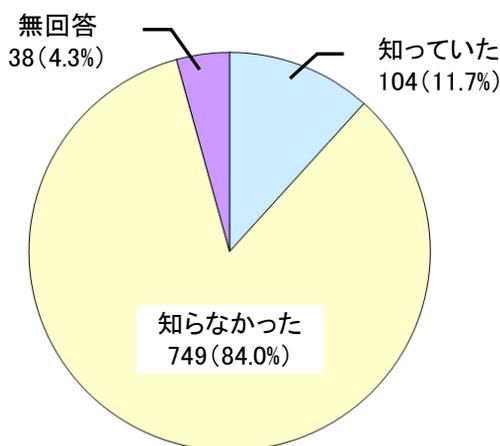
⑰ 社会福祉協議会の活動において、今後どのような分野での役割を期待しますか
(3つまで)



- 社会福祉協議会に期待される役割として、「高齢者の介護や見守りなどに関すること」が17.6%で最も高くなっています。
- 「福祉に関する情報の発信に関すること」が9.5%で2位となっています。
- 「地域福祉活動や住民参加の支援に関すること」が9.2%で3位となっています。

9 地域福祉活動計画の認知度

⑱ あなたは「地域福祉活動計画」という計画をご存知でしたか



・「地域福祉活動計画」について、84.0%の方が「知らなかった」と回答されており、現在の認知度は低くなっています。

10 自由記述から

自由記述での意見については、次のとおりとなっています。（意見の多いものから順に記載しています。）

- ①「相談窓口の充実」「わかりやすい相談体制の整備」「相談窓口の一本化」
- ②「子育て支援の充実」「子育て環境の整備」「若者が住みやすい地域づくり」
- ③「高齢者の居場所づくり」「介護予防の推進」「健康寿命の延伸」
- ④「わかりやすい情報発信」「インターネット・CATVの活用」
- ⑤「地域コミュニティの希薄化への対応」「地域での助け合いの推進」
- ⑥「人材育成」「地域リーダーの育成」「専門職の充実・スキルアップ」
- ⑦「一人暮らし高齢者対策・見守り体制の充実」「認知症対策の充実」
- ⑧「ボランティアの育成」「災害時の助け合いの重要性」

最も多かったのは、介護や障がいなどの福祉サービスや、困りごとの相談をどこにしたらいいかかわからないなど相談窓口に対する意見でした。以下、子育て支援、高齢者対策の充実、わかりやすい情報発信などが続いております。

また、21 ページの「③ふだん、あなたとご近所の人との関係は次のどれに近いですか」であったように地域コミュニティの希薄化に対する意見もあり、今後、地域での助け合いを推進したり、リーダー育成に取り組んでいく必要があります。